

■終わらないイベント@笑恵館■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 456 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

456 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. まつむら塾より
3. ブログより：終わらないイベント@笑恵館
4. 今週の動向+今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

先週の報告とご挨拶

今年は元日が月曜だったので、根拠のない気合が入っていたのに、いきなり能登を襲う大地震。

翌日は 9 度を超える発熱で身動きが取れない所に、今度は羽田空港の惨劇ニュース。

そして 3 日は、発熱に耐えかねて夜間診療所に行ったら、インフルエンザ A 型と判明。

ホントに、最悪の三が日となりました。

インフルエンザは、発症日から 5 日間は自宅隔離ということで、そのまま 6~8 日の 3 連休に突入。

同時発症したカミさんと、つまらないながらもハネムーン以来の「水入らず」を満喫しました。

.

今週は、いや今週こそは、今年度の活動をスタートしたいと思います。

まず、しばらくの間は笑恵館に常駐し、ここを拠点に活動します。

まつむら塾実現学講座のブラッシュアップに夢中です。

1/16 (火) から、笑恵館で対面開催準備中なので、是非ともご検討ください。

膝はかなり回復し、無理をしなれば階段を含め支障なく歩行できますので、外出も可能です。

今週も、どうぞよろしく願いいたします。

.....

2. まつむら塾より

現在開催中の講座は下記の通り (1 か月分)。

名称	日時・内容	場所	受講料
土曜ガイドダンス講座	毎週土曜日 10-17 時	笑恵館	無料
実現学（火朝教室）	01/16 (火)10-12 時・B11.疑問とは何か 01/30 (火)10-12 時・B12.理系と文系	笑恵館	3,000 円/回
実現学（水夜教室）	01/10 (水)22-24 時・B22.清書の意味 01/17 (水)22-24 時・B23.表現の工夫 01/24 (水)22-24 時・B24.伝達の確認 01/31 (水)22-24 時・B25.感動の作り方 02/07 (水)22-24 時・B31.地域と市場	zoom	3,000 円/回

その他、希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

3. ブログより：終わらないイベント@笑恵館

今年は、僕の活動拠点「笑恵館（しょうけいかん）」の開業 10 周年を記念して、「ローカルビジネスコンテスト」をやりたいと妄想している。

そもそも、笑恵館誕生のきっかけは、2012 年にオーナーの T さんが僕の開催する起業セミナーに来てくれたこと。

当時の僕は、「せたがやビジネスリーグ」と称して、①コンテストに挑むために、②セミナーで学び、応募者が③フェアで互いのビジネスを見せ合って、最後に④アワードを競い合う一連のイベントをスタートしたところだった。

(<https://nanoni.co.jp/old/ssbc/index.html> 参照)

その後、セミナーで学んだ T さんは、2013 年にはアイデア部門でコンテストに参加して、翌 2014 年には事業部門で見事に優勝した。

もちろん、セミナーをきっかけにフリーパートナーとして月額 1 万円で雇われた僕が、全面的にバックアップしたのは言うまでもない。

だが、このイベントで知り合った多くのチャレンジャーたちが笑恵館に集い、ここを活動の場として活用してくれたことが、笑恵館に大きな力を与えてくれた。

.

当時の様子を少し振り返りたい。

このイベントは、一過性の盛り上げイベントではなく実現へのプロセスで、年度末の④アワード結果が翌年のイベントに引き継がれ、循環する。

コンテストの入賞者を、翌年のセミナー講師やゲスト審査員に招いて、プロジェクトの担い手に育てていく。

コンテストの目的は優劣の競い合いでなく、あくまで参加メンバー同士の交流だ。

予選と本選はどちらも会場での人気投票で、審査はしないし、商品や賞金も一切ないので、進行役の僕がどんなにえこひいきしようとも関係ない。

ゲスト審査員は、自由に特別賞を授与できる代わりに、ビジネスにちなんだ副賞を提供する。

世田谷にちなんだゲストということで、強引にお誘いした世田谷自然食品さんが提供して下さった「グルコサミンとすっぽんエキス 1 年分」が、まさに「目玉賞品」となった。

第1回目は2010年の5月から、全5回の「せたがやソーシャルビジネスセミナー（起業セミナー）」を開催し、11月から「せたがやソーシャルビジネスコンテスト」としてビジネスプランの募集を開始して、2011年の1月11日にエントリーを締め切った。

受付期間中は、僕が毎週開催する勉強会でプラン作りを手伝いながら応募を促進し、受け付けたビジネスプランは、受付順にサイトに上げて、誰もが閲覧できるようにした。

選考方法は、「地域に根ざしたソーシャルビジネス」の明確な定義に基づくジャンルに分けて受け付けて、ジャンルごとに人気投票を行った。

2011年2月23日の「せたがやソーシャルビジネスフェア③（予選）」では、全ての応募者が3分ずつ発表してジャンルごとに1案ずつ通過させ、3月6日の「せたがやソーシャルビジネスアワード④（本選）」では、全ジャンルの代表者が5分発表+3分Q&Aを行い、同じく人気投票で順位を決めた。

コンテストの説明会を兼ねて、始めに開催するセミナーでは、次の通り「地域に根ざしたソーシャルビジネス」の定義や分類を説明した。

事業分野は、できるだけ具体イメージしやすいように、下記の3分野2項目ずつに分類した。

分野①「区民に役立つビジネス」で、A. 区民の求めるモノを提供する、B. 区民の困りごとを解決する。

分野②「区民を頼るビジネス」で、A. 区民を雇用する、B. 区民を仕入先にする。

分野③「区民がときめくビジネス」で、A. 区民が世田谷に関心を持つ、B. 区民が自慢したくなる。

さらに応募者を、部門①「上記のビジネスに取り組む事業者」と、部門②「上記のビジネスに挑むアイデア」の2部門に分類して、全部で12ジャンルの募集となった。

このように、ルールを細かく規定して裁量に基づく審査を極力排除し、受付状況を見ながら応募ジャンルを変更したり、応募内容を自由に修正できる「カンニングOK方式」を採用したのは、このイベントがテストや試験ではないことを、明確に示すためだ。

こうして無事第1回目のイベントは終了し、全ての応募案を網羅した小冊子をまとめ上げたその当日、東日本大震災が発災した。

日本経済の崩壊を予感した僕は、すぐに拠点探しを開始して、3月中には賃貸契約を完了し、4月5日の誕生日に「アントレハウス駒沢」を開業した。

アントレハウスとは、「起業する家」を意味する造語で、当時普及し始めた「コワーキングスペース」と「まっむら塾」が合体したような機能を持った。

一方、世田谷区の事業として立ち上げたこのイベントは、なぜか事業採択されることはなく、笑恵館が優勝する第4回まで自主事業として手弁当で開催した。

つまり、このイベントは笑恵館の開業をもって幕を閉じ、僕の興味は「起業」から「国づくり」へとシフトしていったと思われる。

本題に戻そう。

10年前の笑恵館開業は、同時に笑恵館を生み出した「せたがやビジネスリーグ」の終焉でもあった。

このイベントは、その後「中央区」や「前橋市」などで模倣されたり、内閣府の「地域おこし協力隊・テコ入れイベント」として幾度か携わることになったが、地域に定着することは無かった。

そこで今回、笑恵館から再スタートしてみたいと思い至った。

「ローカルビジネスコンテスト」に関する現状思い付きは下記の3点。

1. 「ソーシャル」を「ローカル」と読み替えることで、ビジネスの領域と対象地域をコンパクト化すること。

- 2. 年次ごとに反復循環することで、常施設としての笑恵館をフル活用すること。
 - 3. 笑恵館の主力事業とすることで、笑恵館型事業の普及啓発に繋げること。
- 以上、笑恵館 10 周年記念イベントは、終わらないイベントを目指したい。

<https://nanoni.co.jp/20240107-2/>

.....

4. 今週の動向+今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

■今週の動向

(火) 01/09 笑恵館作業日

会議○：20-21 時 LR 定例会議_2 火 (zoom)

(水) 01/10 笑恵館作業日

診療×：09-10 時 ひざ骨折診療 (関東中央病院)

(木) 01/11 笑恵館作業日

診療×：09-10 時 ひざリハビリ (関東中央病院)

会議◎：17-19 時 笑恵館運営会議_2 木 (笑恵館)

(金) 01/12 笑恵館作業日

相談×：11-12 時 S さん (笑恵館)

(土) 01/13 笑恵館作業日

交流◎：09-17 時 よろず相談会 (笑恵館)

(日) 01/14 休業日

会議×：10-12 時 100SMILES_2 日 (zoom)

(月) 01/15 休業日

■今後の予定

01/18 交流◎：13-18 時 なるほどデイ_3 木 (笑恵館)

01/18 交流◎：18-20 時 持ち寄り食事会_3 木 (笑恵館)

01/20 交流◎：10-17 時 よろず相談会_土 (笑恵館)

01/23 会議○：20-21 時 LR 定例会議_4 火 (zoom)

01/25 交流◎：10-12 時 笑恵館 de シネマ_4 木朝 (笑恵館)

01/25 会議◎：17-19 時 笑恵館運営会議_4 木 (笑恵館)

01/25 交流◎：19-21 時 笑恵館 de シネマ_4 木夜 (笑恵館)

01/27 交流○：18-20 時 住人食事会_4 土 (笑恵館)

01/28 交流○：10-14 時 名栗の森 OSC 例会_4 日 (飯能)

02/08 会議◎：17-19 時 笑恵館運営会議_2 木 (笑恵館)

02/11 会議×：10-12 時 100SMILES_2 日 (zoom)

02/13 会議○：20-21 時 LR 定例会議_2 火 (zoom)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>